



DiagTools Version 2.2

ユーザースガイド

HP Brio PC
HP Vectra PC
HP Kayak PC ワークステーション

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

3Com[®] は、3Com Corporation の登録商標です。

AMIDIAG は、American Megatrends Inc. の商標です。

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Celeron[®]、Intel[®]、MMX[®]、OverDrive[®] および Pentium[®] は、Intel Corporation の登録商標です。

Crystal は、Cirrus Logic Inc. の商標です。

Matrox[®] は、Matrox Electronic Systems Ltd. の登録商標です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Sound Blaster は、Creative Technology Ltd. の米国およびその他の国における商標です。

Hewlett-Packard France
Commercial Desktop Computing Division
38053 Grenoble Cedex 9
France

© 1999 日本ヒューレット・パカード株式会社

© 1999 Hewlett-Packard Company

ユーザーズ ガイド

本書の内容

本書の内容

このマニュアルは、以下の内容について説明します。

- Vectra PC または Kayak PC ワークステーションに対するハードウェア障害の診断方法
- DiagTools の機能と使用目的
- DiagTools の使用方法
- テストに失敗したときの対処方法
- 問題をよりスムーズかつ効率的に解決するために、HP サポート担当にどのような情報を提供するか
- より詳しい情報とサポートの入手方法

DiagTools とは？

PCに問題が発生したらまず最初に行うことが、「診断」です。

HP DiagTools は、Brio PC、Vectra PC、Kayak PC ワークステーション対応のハードウェアトラブル診断ツールです。HP DiagTools は、次のような機能を持つ一連のツールから構成されます。

- Brio PC、Vectra PC、Kayak PC ワークステーションが正しく動作しているか検証する。
- ハードウェア関連の問題を診断する。
- HP サポート担当が問題をよりスムーズかつ効率的に解決するための正確な情報を提供する。

DiagTools は修理用のプログラムではありません。

DiagToolsの概要

ハードウェア診断ユーティリティは、次の4つの部分から構成されます。

- **ハードウェアの検出**
Brio PC、Vectra PC、Kayak PC ワークステーションの詳細なハードウェア構成を自動的に検出します。ハードウェアの検出方法については、第2章をご覧ください。
- **ベーシック テスト**
PCの動作状態を包括的に調べます。ベーシック テストについては、第3章をご覧ください。
- **アドバンスドテスト**
PCの個々のコンポーネントに対して、より徹底的なテストと診断を行います。アドバンスドテストについては、第4章をご覧ください。
- **サポート チケット**
テストの診断結果やPCの構成情報を記録したログ ファイルです。テスト結果を最寄りのサポート窓口にレポートするために使用します。サポート チケットについては、第5章をご覧ください。

対象機種

DiagTools version 2.2は、次の HP プラットフォームでご使用になれます。

- Brio BA400
Brio BA600

本バージョンのDiagToolsは、上記以外のモデルもサポートしています。詳細は、次のHP Webサイトをご覧ください。

HP Vectra サポート <http://www.hp.com/go/vectrasupport>

HP Kayak サポート <http://www.hp.com/go/kayaksupport>

旧モデルのBrio、Vectra、Kayakでは別バージョンのDiagToolsをご使用いただけます。

HP Omnibook、HP NetServer、HP Thin Client では専用のDiagToolsをご使用いただけます。

詳細

詳細

DiagToolsに関する詳細は、HP Webサイトで入手できます。

<http://www.hp.com/desktops/diagtools>

HP WebサイトならびにHPカスタマケアサービスとサポートについては、34ページをご覧ください。

目次

本書の内容	iv
DiagToolsとは?	iv
DiagToolsの概要	v
対象機種	v
詳細	vi

1 DiagToolsの実行

概要	2
DiagToolsを実行する前に	3
PCのSetupプログラムについて	3
DiagToolsをハードディスクの専用パーティションから実行する	4
DiagToolsをHPリカバリCD-ROMから実行する	5
DiagToolsをHP DiagTools CD-ROMから実行する	5
起動画面	6

2 ハードウェアの検出

ハードウェア検出の概要	8
ハードウェアの検出段階	8
ハードウェアの検出結果	9
検出可能なコンポーネントと項目	10
検出されないコンポーネントがあった場合	11

3 ベーシック システム テスト

ベーシック システム テストの概要	14
ベーシック システム テストの実行方法	14
テスト結果が合格の場合	15
テスト結果が不合格の場合	16
ベーシック システム テストに失敗したときは	17
診断可能なテスト項目	18

4 アドバンスド システム テスト

アドバンスドシステム テストの概要	22
アドバンスド システム テストの開始	22
アドバンスド テストのヘルプ	23
アドバンスド システム テストの実行方法	23
バッチテスト	25
テストに失敗した場合	27
エラーコードが表示された場合	28

5 サポート チケット

サポート チケットとは?	30
サポート チケットの作成	30
サポート チケットの表示	31
サポート チケットにコメントを追加する	32

6 HP カスタマケア サービスとサポートのご案内

HP 正規販売代理店	34
HP サポートおよびインフォメーション サービス	34

付録Aエラーコード

エラーコードの概要	36
0000h – 00FFh: システム エラーコード	37
0100h – 01FFh: メモリ エラーコード	45
0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード	48
0400h – 04FFh: キーボード エラーコード	52
0500h – 05FFh: SCSIエラーコード	53
0600h – 06FFh: シリアルポート エラーコード	56
0800h – 080Fh: Sound Blaster 互換エラーコード	59
0810h: PCスピーカー エラーコード	60
0811h – 081Fh: Windows Sound System 互換 エラーコード	60
0900h – 09FFh: ビデオ エラーコード	61
0A00h – 0AFFh: CD-ROMエラーコード	64
0C00h – 0CFFh: IDEテープ エラーコード	65
0E00h – 0EFFh: SMBus (System Management Bus) エラーコード	66
0F00h – 0FFFh: ATAPI リムーバブル デバイス エラーコード	68

1000h – 10FFh: マルチプロセッサ エラーコード	69
1200h – 12FFh: TI カードバス テストエラーコード	72
1300h – 13FFh: USB エラーコード	73
1700h – 170Fh: ACPI エラーコード	73
1900h – 1902h: DVD エラーコード	74
8000h: DiagTools エラーコード	74
9610h: Matrox ビデオ エラー コード	74
9621h: Crystal サウンド エラーコード	75
9630h: 3Com LAN エラーコード	75
9640h – 966Ch: ハードディスク エラーコード	75

DiagToolsの実行

この章では、Brio、Vectra、Kayakのハードウェア診断方法について説明します。

1 DiagToolsの実行

概要

概要

本バージョンのHP DiagToolsは、次のメディアで提供されます。

- ハードディスクにあらかじめ設置された専用パーティション
- HP PC新型モデルに付属の「HP PC Image Engineer - イメージ作成/リカバリ CD-ROM」(VectraおよびKayak用)、または「Brio Assist CD-ROM」(Brio用)
- HP DiagTools CD-ROM

DiagToolsを実行する前に

DiagToolsを実行する前に、PCのBIOS Setupプログラム内の設定が次のようになっていることを確認してください。

- オペレーティング システムが指定されていない。
設定方法は次の通りです。
 - [Main]メニューに[Running Windows 95]または[Plug and Play OS]という項目がある場合は、[No]に設定します。
 - [Main]メニューにオペレーティング システムを選択する項目がある場合は、[Other]に設定します。
- [Security]メニュー内の[Hardware Protection]が、すべて[Enabled]または[Unlocked]に設定されている。
- DiagToolsをCD-ROMから実行する場合、CD-ROMから起動するオプションが有効であり、CD-ROMが最初の起動デバイスとして設定されている。

VectraおよびKayak PCでは、コンピュータの再起動後、ロゴ画面が表示された時に[F8]キーを押すことにより、ブートデバイスの優先順位を設定できます。

DiagToolsが終了した後は、Setupプログラムの値を元の値に戻してください。

PCのSetupプログラムについて

Setupプログラムは、PCの構成情報を表示したり、設定パラメータを変更するための(ROMベースの)内蔵プログラムです。

Setupプログラムで起動初期化パラメータを変更すると、システムの動作が変わります。誤った値を設定すると、PCが起動しなくなることがあります。このような場合は、Setupプログラムで[F9]キーを押します。これによってSetupのデフォルト値がロードされ、設定を変更した前の状態に戻ります。

PCのSetupプログラムに入るには、PCを再起動し、ロゴ画面(またはサマリ画面)が表示されている間に[F2]キーを押します。

1 DiagToolsの実行

DiagToolsをハードディスクの専用パーティションから実行する

DiagToolsをハードディスクの専用パーティションから実行する

DiagToolsをハードディスクの専用パーティションから実行する手順は、次のとおりです。

- 1 すべてのアプリケーションを終了し、オペレーティングシステムをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。
- 2 ログ付きのスプラッシュ画面が表示された後、次のようなメッセージが表示されます。

**Press <F10> to start Hardware Diagnostics ...
or any other key to proceed**

- 3 [F10]キーを押します。DiagToolsが自動的に起動し、ウェルカム画面が表示されます(6ページを参照)。

注記

DiagToolsが正常に起動しない場合は、専用パーティションが使用不能になっている可能性があります。このような場合は、ハードディスクではなく、CD-ROMからDiagToolsを起動してみてください。また、ハードディスクドライブにプログラムやデータがまったく保存されていなければ、HP提供のリカバリCD-ROMを使用して、工場出荷時のディスクイメージを復元することができます。

DiagToolsをHPリカバリCD-ROMから実行する

DiagToolsは、お使いのコンピュータに付属の「HP PC Image Engineer - イメージ作成/リカバリCD-ROM」(VectraおよびKayak用)、または「Brio Assist CD-ROM (Brio用)」から実行できます。手順は次のとおりです。

- 1 HP CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。オペレーティングシステムをシャットダウンし、コンピュータを再起動します。
- 2 DiagToolsをCD-ROMから起動するオプションが有効であり、CD-ROMが最初の起動デバイスとして設定されていることを確認します。
- 3 HP CD-ROMのメインメニューが表示されます。ハードウェア診断テストを実行するオプションを選択します。

DiagToolsが起動し、ウェルカム画面が表示されます(6ページを参照)。

DiagToolsをHP DiagTools CD-ROMから実行する

DiagToolsをHP DiagTools CD-ROMから実行する手順は、次のとおりです。

- 1 HP DiagTools CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。オペレーティングシステムをシャットダウンし、コンピュータを再起動します。
- 2 DiagToolsをCD-ROMから起動するオプションが有効であり、CD-ROMが最初の起動デバイスとして設定されていることを確認します。
- 3 CD-ROM上のプログラムが、システムに適したバージョンのDiagToolsを自動的に判定します。DiagToolsが起動し、ウェルカム画面が表示されます(6ページを参照)。

1 DiagToolsの実行 起動画面

起動画面

DiagToolsを起動すると、次の画面が表示されます。



[F2]キーを押し、画面に表示される指示に従って診断テストを実行してください。診断ユーティリティはいつでも終了できますが、システムのベーシックテストを実行している数分間は終了できません。通常、画面に各テストの進行状況が表示されます。

ハードウェアの検出

本章では、Brio、Vectra、Kayak対応DiagToolsのハードウェア検出について説明します。

2 ハードウェアの検出

ハードウェア検出の概要

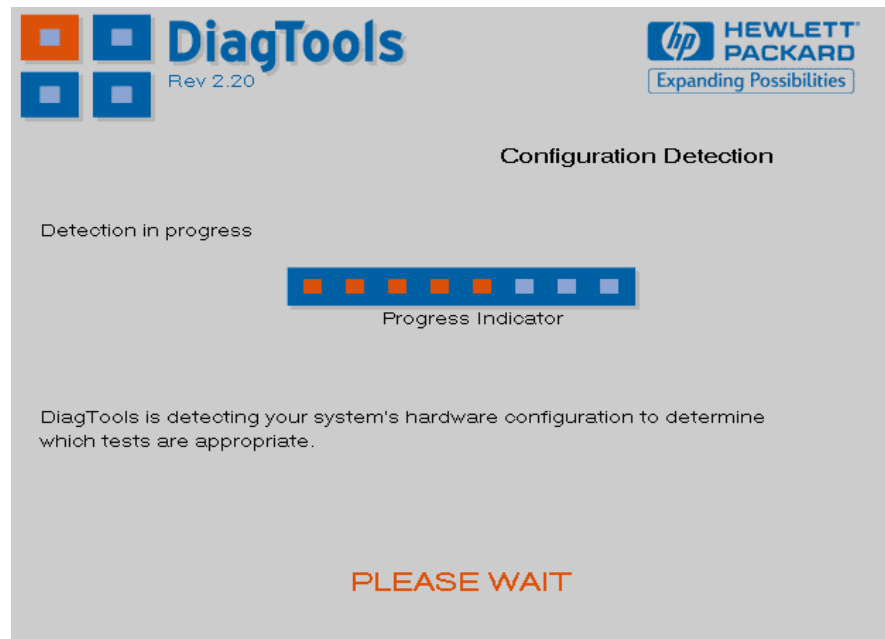
ハードウェア検出の概要

ハードウェア検出は、PCの主なハードウェアコンポーネントを発見し、リストアップします。また、お使いのPCに合わせてどのテストが最適かを判断します。例えば、PCがIDEまたはSCSIタイプのハードディスク・ドライブの場合、ベーシック・システム・テストの一部でハードディスクのブート・セクタがテストされます。

なお、アドバンスド・テストでは、検出されない一部の機能は無効になります。例えば、SCSIコントローラが搭載されていないPCの場合、アドバンスド・テストのSCSIメニューは、使用できません。

ハードウェアの検出段階

ハードウェアの検出が始まると、次のような画面が表示されます。

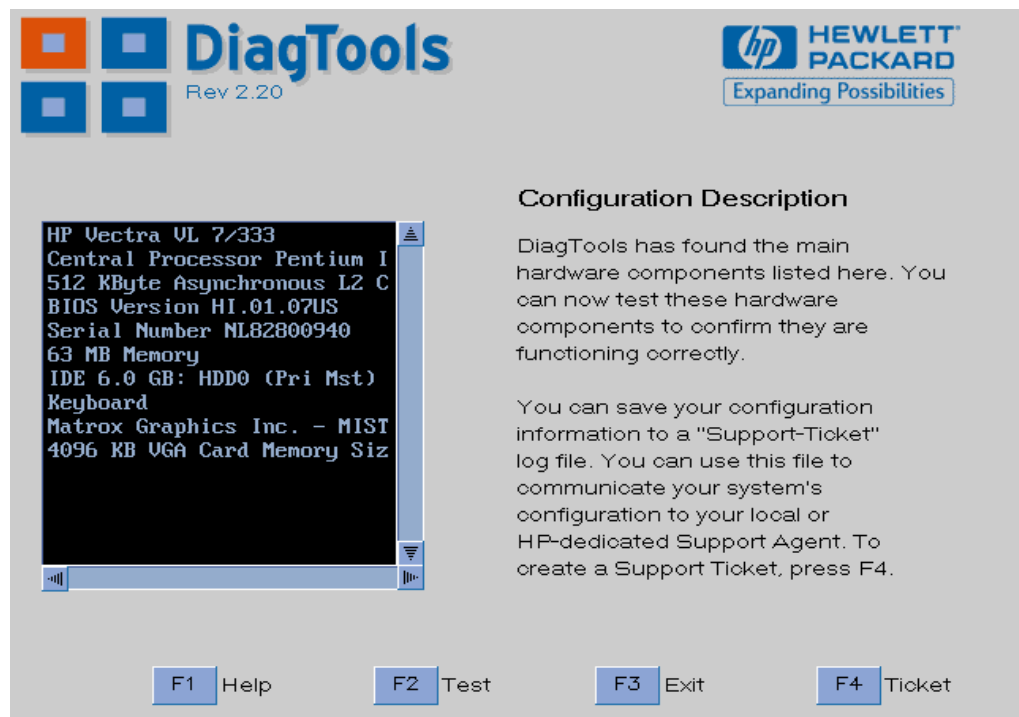


注記

ハードウェアの検出は非常に速く行われるため、画面が点滅した状態になり、多少見づらい場合があります。ハードウェアの検出に要する時間は、お使いのシステムや構成内容によって異なります。

ハードウェアの検出結果

ハードウェアの検出が終わると、次のような画面が表示されます。



検出されたコンポーネントの一覧を移動するには、マウスまたは矢印キーを使って画面をスクロールさせてください。

2 ハードウェアの検出

検出可能なコンポーネントと項目

検出可能なコンポーネントと項目

ハードウェア検出段階で検出可能なものを次に示します。

- 製品名とバージョン (**HP Vectra VL 600**など)
- プロセッサのタイプ、バージョンと速度 (**Pentium II @500 MH**など)
- キャッシュメモリのタイプとサイズ
- BIOSのバージョン
- シリアル番号
- メインメモリの総容量 (**64 MB**メモリなど)
- IDEハードディスクの一覧、デバイスのタイプ、容量
- SCSIハードディスクの一覧、デバイスのタイプ、容量
- 現在使用中のグラフィックス・アダプタとそのベンダ、製品名、メモリサイズ
- キーボード
- Sound Blaster 互換オーディオコントローラ
- USBコントローラ

お使いのPCにインストールされているコンポーネントで検出されないものがあった場合は、11ページの「検出されないコンポーネントがあった場合」を参照してください。

検出されないコンポーネントがあった場合

ハードウェア診断時に、検出されないコンポーネントがあった場合は、次の方法を試してください。

- 1 検出されなかったコンポーネントが DiagTools で検出可能なコンポーネントかどうか確認します (10 ページを参照)。
検出対象外のコンポーネントの場合は、DiagTools のエラーではなく正常なテスト結果です。
検出対象であれば、次のステップに進んでください。
- 2 Setup プログラムの設定が正しいことを確認します (Setup プログラムについて詳しくは、3 ページを参照)
- 3 トラブルシューティングについては、PC に付属のユーザーズ・ガイドを参照してください。
- 4 DiagTools を実行して、ベーシック システム テストに進みます。

注記

DiagTools は、検出されなかったコンポーネントのテストは行いません。ただし、このような場合でも、ベーシック システム テストを引き続き実行して、コンポーネントが正しく機能しているか、潜在的な問題がないか検証することをお勧めします。

例えば、PCI SCSI コントローラとこれに接続する SCSI ハードディスクを搭載する PC で診断テストを行ったところ、SCSI ハードディスクだけが検出されなかったとします。このような場合でも、ベーシック・テストを実行すれば、SCSI コントローラをサポートする PCI システムが正常に機能しているかどうかを検証することができます。

- 5 それでもまだ問題が解消されない場合は、最寄りの HP サポート窓口までご連絡ください。

2 ハードウェアの検出

検出されないコンポーネントがあった場合

ベーシック システム テスト

本章では、DiagToolsのベーシック システム テストについて説明します。

3 ベーシックシステムテスト

ベーシックシステムテストの概要

ベーシックシステムテストの概要

ベーシックシステムテストは、ハードウェアの検出後に行われます。このテストの目的は、PC内の各ハードウェアコンポーネントが正しく機能しているかどうかを検証することにあります。本テストでは、検出されたコンポーネントに対して次のことを確認します。

- コンポーネントの電源がオンになっているか
- コンポーネントが初期化され、使用可能かどうか
- コンポーネントが MS-DOS で正しく動作しているか

アドバンスドシステムテストと異なり、このテストは自動的に行われるため、ユーザーが入力したり、指示したりする必要はありません。したがって、このテストは初心者の方を含むすべてのユーザーの方にお使いいただけます。

ベーシックシステムテストでは、たいていの PC コンポーネントのテストを行います。コンポーネントをすべてテストする場合は、アドバンスドシステムテストを実行してください。

ベーシックシステムテストの実行方法

ベーシックシステムテストはハードウェアの検出が終了した後に行います。ベーシックシステムテストは次の手順で実行します。

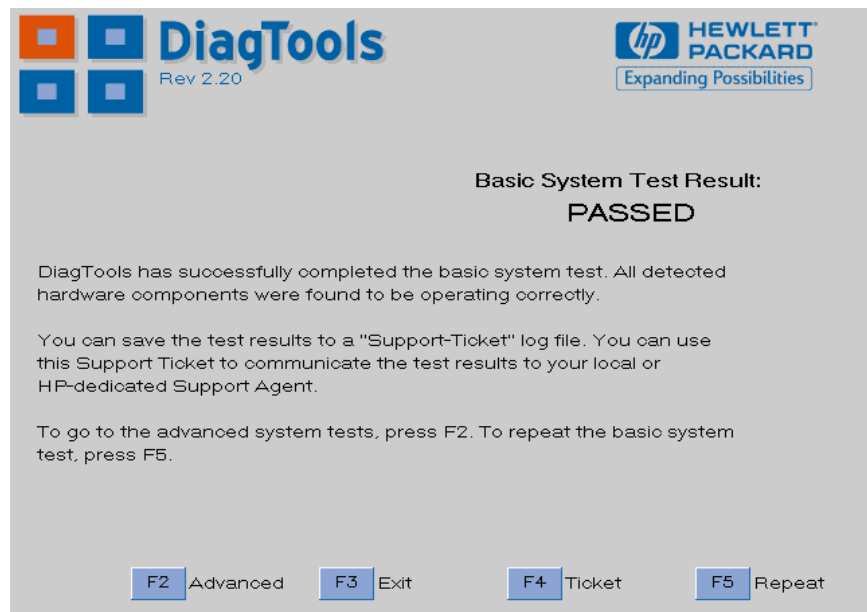
- 1 DiagTools を起動します。DiagTools の起動方法については、第 1 章を参照してください。
- 2 画面の指示に従って、ハードウェアの検出を行います。ハードウェアの検出方法については、第 2 章を参照してください。
- 3 ベーシックシステムテストに進むように指示する画面が表示されます。**[F2]** を押して、画面の指示に従ってください。

注記

ベーシックシステムテストの実行中は、画面の表示がおかしく見える場合がありますが、これは正常な動作であり、テストが終了すれば元の状態に戻ります。

テスト結果が合格の場合

ベーシックシステム テストが正常に終了した場合、次のような画面が表示されます。



必要に応じて、次のように対処することをお勧めします。

- ハードウェアの動作検証のみを目的としてハードウェアの診断を行った場合、アドバンスド テストに進んだり、サポート チケットを作成する必要はありません。**(F3)** を押して、**DiagTools**を終了してください。
- 既知のハードウェアの問題を調べたい場合は、**(F4)** を押してサポート チケットを作成します。問題が検出されなかった場合でもサポート チケットを作成しておけば、テスト結果やPCの構成内容をサポート担当者に報告する際に役立ちます (サポート チケットについては、第5章を参照してください)。

コンピュータにある程度精通した方、また上級ユーザーの方には、アドバンスドシステム テストをお勧めします。エラーやその原因は、このベーシックシステム テストでは診断できません。

3 ベーシックシステムテスト

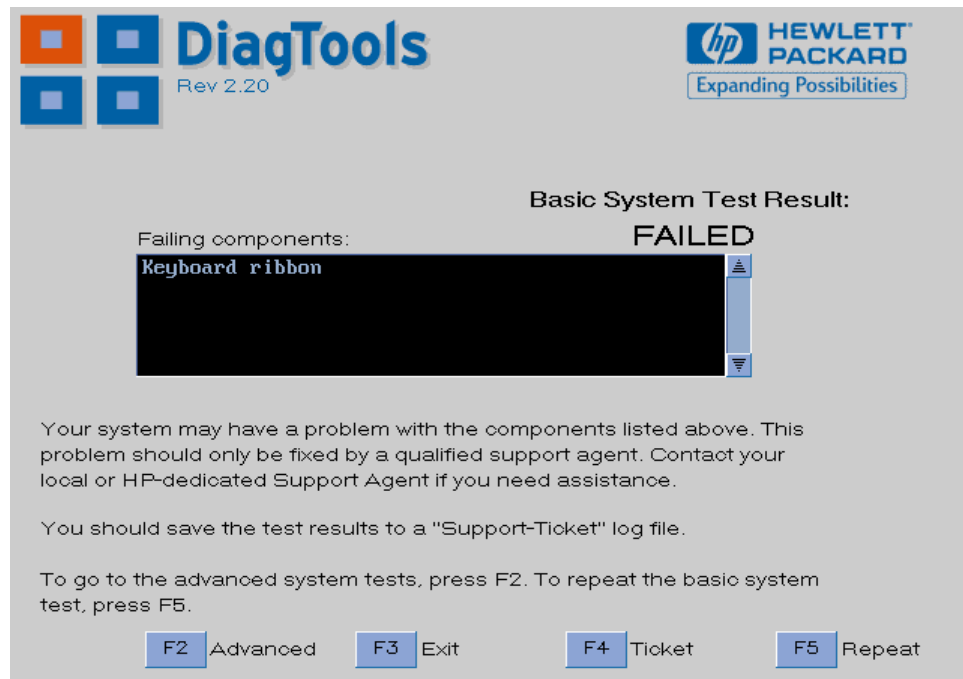
テスト結果が不合格の場合

コンピュータの操作に関して不明な方は、最寄りのHPサポート窓口またはHPサポート協力会社までお尋ね下さい。この場合、実際にアドバンスドシステムテストを行っていただくことがあります。

ベーシックシステムテストは必要に応じて何度も実行できます。ベーシックテストを繰り返すには、**(F5)**を押してください。

テスト結果が不合格の場合

ベーシックテストに失敗した場合、次のような画面が表示されます。



注記

テストに合格しなくても、コンポーネントの交換が必ずしも必要であるとは限りません。構成エラーやケーブルの接続が正しくない場合があります。

ベーシックシステム テストに失敗したときは

次の方法で対処することをお勧めします。

- サポート チケットを作成します。サポート チケット には、テスト結果がすべて詳細に記載されます。このチケットがあれば、サポート担当者によりスムーズに問題を報告できます(サポート チケットについて詳しくは、第5章を参照してください)。
- コンピュータの操作に関して不明の方は、最寄りのHPサポート窓口またはHPサポート協力会社までお問い合わせください。サポート チケットは電子メールまたはファックスにて受け付けています。なお、サポート チケットには問題の詳細やお客様のコメントを書き加えることもできます (詳しくは、32ページを参照してください)。
- コンピュータにある程度精通した方、また上級ユーザーの方は、アドバンスド テストに進み、必要に応じてエラーの原因を調べてください。

この時点で、問題を解決できるだけの情報を得られた場合は、サポート チケットの作成が終了したら **DiagTools** を終了します。

ベーシックシステム テストは必要に応じて何度も実行できます。ベーシック テストを繰り返すには、**F5** を押してください。

3 ベーシックシステムテスト

診断可能なテスト項目

診断可能なテスト項目

ベーシックテストには次のようなテストが含まれます。

- ベーシックシステムテスト:次に示すプロセッサやサブシステムの動作確認
 - プロセッサの基本的動作状態
 - DMA コントローラ
 - 割り込みコントローラ
 - タイマー
 - リアルタイムクロック
 - CMOSの有効性
 - PCIシステム
 - MMX
 - DMI
 - マルチプロセッサ(複数のプロセッサを搭載の場合)
- メモリテスト:次に示すメインまたはキャッシュメモリの動作確認
 - BIOS ROM
 - パリティ
 - アドレス
 - リフレッシュ
 - データバス
 - キャッシュメモリ
 - L2 キャッシュメモリ
- IDEハードディスクドライブテスト:すべてのIDEハードディスクドライブの基本的動作の確認
 - IDE HDDの基本的動作
- SCSIハードディスクドライブ:すべてのSCSIハードディスクドライブの基本的動作の確認
 - SCSI HDDの基本的動作

3 ベーシックシステムテスト 診断可能なテスト項目

□ キーボード テスト

- キーボード コントローラ
- キーボード クロック ライン
- キーボード データ ライン

□ VESAビデオ メモリのテスト

□ USBテスト

□ その他のテスト

- シリアル ポートの基本的テスト (アドバンスド テストで行うデータ転送テストは含みません)
- パラレル ポートの基本的テスト (アドバンスド テストで行う印刷テストは含みません)

上記のテストは、お使いのPCの構成に対して必要な時だけ行われます。例えば、SCSIコントローラが搭載されていない場合や、SCSIコントローラに接続されたSCSIデバイスがない場合、SCSIテストは行われません。

また、コンポーネントテストが行われるのは、ハードウェア検出段階でコンポーネントが正常に検出されたときだけです。例えば、最近取り付けたIDEハードディスクドライブがハードウェア検出段階で検出されなかった場合も、ハードディスクドライブのテストは行われません (ハードウェアの検出方法について詳しくは、7ページを参照してください)。

注記

DiagToolsは、検出されなかったコンポーネントのテストは行いません。ただし、このような場合でも、ベーシックシステムテストを引き続き実行して、コンポーネントが正しく機能しているか、潜在的な問題がないかどうか検証することをお勧めします。

3 ベーシック システム テスト

診断可能なテスト項目

アドバンスド システム テスト

本章では、アドバンスド システム テストについて説明します。このテストでは、各PCコンポーネントはより細かくテストされます。

4 アドバンスド システム テスト

アドバンスド システム テストの概要

アドバンスド システム テストの概要

アドバンスド システム テストを使用して、個々のPCコンポーネントをテストできます。本テストでは、ベーシック システム テストに比べ、より詳細かつ広範にコンポーネントの動作確認を行うことができます。

このテストでは、ハードウェア診断の他のステップとは表示や操作方法が多少異なります。

ベーシック システム テストとは異なり、アドバンスド テストの起動や選択は、オンスクリーン メニューでユーザーが行う必要があります。アドバンスド テストの各項目はほとんどが設定可能であり、繰り返しテストすることができます。

このアドバンスド テストは、コンピュータの操作にある程度慣れている方、または熟練者の方に適しています。

アドバンスド システム テストの開始

アドバンスド システム テストは、ベーシック システム テストが完了した時点でのみ実行できます。アドバンスド システム テストは次の手順で開始してください。

- 1 DiagToolsを起動します。起動方法については、第1章を参照してください。
- 2 画面の指示に従って、ハードウェアの検出を行います。ハードウェアの検出方法については、第2章を参照してください。
- 3 画面の指示に従って、ベーシック システム テストを行います。ベーシック システム テストについては、第3章を参照してください。
- 4 **[F2]**を押します。画面の指示に従って、アドバンスド システム テストに進みます。

アドバンスド テストのヘルプ

各テストには、それぞれ詳しい情報が用意されています。各テストの説明やヘルプは、次のいずれかの方法で表示できます。

- 画面下部に、メニュー内で現在選択されているテストに関する説明が一行にまとめて表示されます。任意のテストのヘルプを表示するには、選択バーをヘルプを表示したいメニュー項目まで移動します。
- メニュー内で現在選択されているテストに関して、より詳しいヘルプが必要な場合、**F1** を押します。アドバンスド テスト画面に戻るには、**Esc** を押します。

メニューやメニュー内の各項目を移動するには、マウスまたは矢印キー (**◀**, **▶**, **△** および **▽**) を使います。

アドバンスド システム テストの実行方法

テストの選択と実行は、ユーザー自身で行います。テストは次の2通りの方法で実行します。

- 個別処理: メニュー内で必要なテストを選択します。
- バッチ処理: バッチ機能を使用して行います。25ページの「バッチテスト」を参照してください。

アドバンスド テストは次の手順で行います。

4 アドバンスド システム テスト

アドバンスド システム テストの実行方法

1 画面上のメニューバーで、テスト対象のコンポーネントを選択します。選択可能なコンポーネントは次のものです。

- **System** システム: プロセッサおよびサブシステムのテスト
- **Memory**: BIOS、メインメモリ、キャッシュメモリのテスト
- **IDE**: IDE デバイス (IDE ハードディスクドライブなど) のテスト
- **FDD**: フロッピーディスクドライブのテスト
- **SCSI**: SCSI デバイス (SCSI ハードディスクドライブ) のテスト
- **KBD**: キーボードのテスト
- **Video**: グラフィックスシステムのテスト
- **USB**: USB(ユニバーサルシリアルバス)のテスト
- **Misc**: マウスやシリアルポートなど、その他のデバイスのテスト
- **User**: ユーザーが定義したテスト
- **Batch**: あらかじめ設定しておいたテストセットの実行

注記

アドバンスド テストでは、お使いのPCに適さないメニューの一部が無効になります。例えば、SCSIコントローラが搭載されていないPCの場合、アドバンスド テストのSCSIメニューは使用できません。

2 サブメニューが現われ、選択したコンポーネントに対して実行可能なテストの一覧が表示されます。選択バーで必要なテストを選択し、 を押します。

3 選択したテストによってすぐにテストが始まる場合と、テストパラメータのウィンドウが表示される場合があります。

テストパラメータを変更するには、必要なパラメータを選択して、 を押します。次に、そのパラメータに使用する値を選択します。設定値の変更は、その設定値の意味と役割に対して十分な知識があるときのみ行ってください。

テストを続行するには、[Continue] を選択します。

実行中のテストを途中で中止するには、 を押します。重要なテストのため、中止できないものもあります。テストを中止すると、[Test Aborted] というメッセージが表示されます。

4 アドバンスド システム テスト

バッチテスト

テストが完了すると、[**Test Passed**](テスト合格)または[**Test Failed**](テスト不合格)という、テスト結果を示すウィンドウが表示されます。このウィンドウには、次のようなコマンド オプションがあります。

- **Return to Main Menu**: メイン画面に戻ります。別のテストを実行するときに使用します。
- **Browse Current Test Errors**: 直前に終了したテスト中に発生したエラーを表示します。
- **Browse All Test Errors**: アドバンスド システム テストを開始してから(または、前回のエラー リストを削除してから)発生したエラーを表示します。
- **Erase Error List**: エラー リストを削除します。

注意

サポート チケットを作成する場合は、[**Erase Error List**]を選択しないでください。サポートチケットの作成には、エラー リストが必要です。

サポートチケットを作成し、表示するには、[**T**]キーを押します。

バッチテスト

バッチテスト機能を使用すると、あらかじめ設定しておいた一連のアドバンスド テストを一度に実行できます。バッチ内のテストは、それぞれ自動的に起動します。

バッチテストのヘルプ

バッチ機能の使用方法に関するヘルプを表示するには、[**Batch**]メニューの[**Batch Help**]コマンドを選択します。

テストの選択に関するヘルプを表示するには、[**Batch**]メニューの[**Test Selection**]コマンドを選択します。

4 アドバンスド システム テスト

バッチテスト

バッチテストの 選択

最初に、[Batch]メニューの[Edit Batch Parameters]サブメニューでバッチテストを設定します。[Edit Batch Parameters]サブメニューには、次のコマンドがあります。

- **Batch Parameters:** テスト モード、時間制限、合格数を設定します。
- **Repeat Count:** 各テストの実行回数を指定します。実行回数は1回(テストを1回だけ実行)から256回まで選択できます。
- **Test Parameters:** バッチ処理に含めるテストのパラメータを設定します。

バッチテストの 実行

バッチテストを実行するには、[Batch]メニューで[Run Batch]コマンドを選択します。

[Batch]メニューには、次のコマンドがあります。

- **Save Batch:** 現在のバッチテストを保存します (設定内容も含む)。
- **Load Batch:** 保存しておいたバッチテストをロードします。

注記

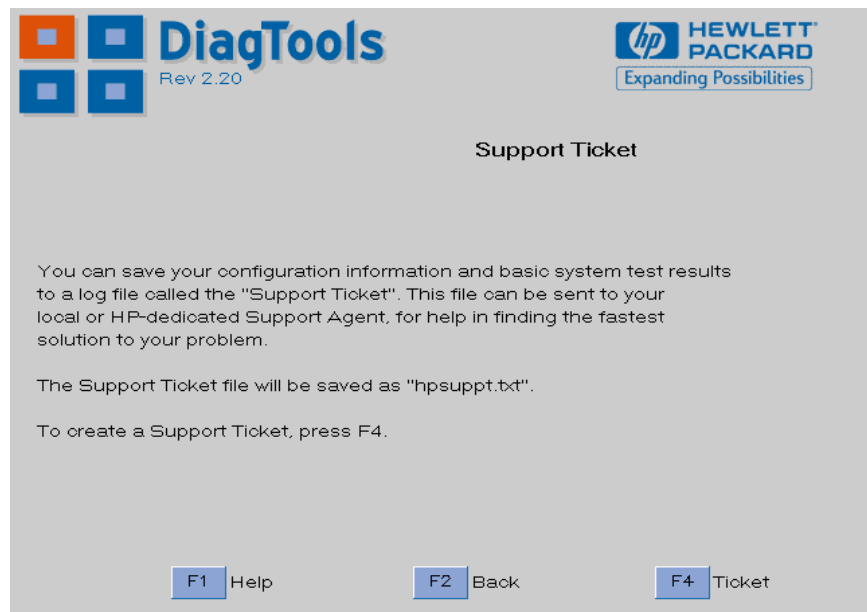
テストの実行順序を変更することはできません。

実行中のバッチテストを中止するには、**[Esc]** を押します。

テストに失敗した場合

次の手順で対処することをお勧めします。

- 1 **[Esc]** を押してアドバンスド システム テストを終了します。次のような画面が表示されます。



- 2 **[F4]** を押して、サポート チケットを作成します。サポート チケットには、テスト結果が詳細に記録されています。サポート チケットを作成しておけば、サポート担当に問題を伝えるときに便利です(サポート チケットについて詳しくは、第5章を参照してください)。
- 3 ご質問、ご不明な点があれば、最寄りのHPサポート窓口またはHPサポート協力会社までご連絡ください。サポート チケットは電子メールまたはファックスにて受け付けています。サポート チケットには問題の詳細やお客様のコメントを書き加えることもできます(詳しくは、32ページを参照してください)。

この時点で、問題を解決できるだけの情報を得られた場合は、**[F3]**を押してDiagToolsを終了します。アドバンスド システム テストに戻るには、**[F2]**を押します。

4 アドバンスド システム テスト エラーコードが表示された場合

エラーコードが表示された場合

付録Aのエラーコード一覧をご覧ください。エラーコードごとに、エラーの原因と推薦する対処方法が記載されています。ただし、ここに記載された対処方法は、問題を的確に解決するための提案であり、必ず実行すべきものではありません。

エラーリストにない
エラーコードが表示さ
れたら

付録Aに記載されないエラーコードが表示された場合は、最寄りのHPサポート窓口またはHPサポート協力会社までご連絡ください。

サポート チケット

本章では、テスト結果やPCの構成内容を記録したサポート チケットについて説明します。

5 サポート チケット

サポート チケットとは？

サポート チケットとは？

サポート チケットとは、診断テストの結果やPCの構成内容を詳細に記録したテキスト ファイルのことです。これを作成しておけば、PCに関する重要な情報をサポート担当に報告する際に非常に役立ちます。サポート チケットは、必要に応じてサポート窓口まで電子メールまたはファックスにてお送りください。

サポート チケットには、問題に関する詳しい説明やお客様のコメントを書き加えることもできます。

サポート チケットの作成

サポート チケットは、次のいずれかの時点で作成できます。

- ハードウェアの検出後（第2章を参照）
- ベーシック システム テストの終了後（第3章を参照）
- アドバンスド システム テストの実行中に、[F]キーを押した時
- アドバンスド システム テストの終了後（第4章を参照）

ハードウェア診断の実行中に、サポート チケットを作成するメッセージが表示されたら、指示に従って作成してください。サポート チケットの作成には、数分かかります。

サポート チケットは、デフォルトでファイル名 HPSUPPT.TXTとして保存されます。ファイル名の変更は行えませんが、ファイルの保存先ディレクトリを指定することはできます。

また、サポート チケットは、フロッピーディスクや一時保存領域に保存し、後からモニタに表示して、内容を見ることができます。

注意

サポート チケットをフロッピーディスクに保存する場合は、フォーマット済みで、十分に空きスペースのあるフロッピーディスクをご使用ください。また、サポート チケットを保存しておきたい場合は、新しいサポート チケットを作成する前に、他のフロッピーディスクやハードディスクの適当なディレクトリなど、別の場所にコピーしておく必要があります。

サポート チケットの表示

作成されたサポート チケットは、次のいずれかの方法で表示できます。

- サポート チケットが正常に作成された後で、[F7]を押す。
- DiagToolsを終了するときに、Microsoft Windows付属のメモ帳などのテキスト エディタで、HPSUPPT.TXT ファイルを開く。

5 サポート チケット

サポート チケットにコメントを追加する

サポート チケットにコメントを追加する

サポート チケットには、不具合に関する詳しい内容やコメントを書き加えることができます。詳しい情報を提供していただきますと、サポート担当がよりスムーズかつ効率的に問題を解決することができます。

注意

サポート チケットに記載された内容は、削除しないようお願いいたします。サポート担当にとっては、どれも不具合の解決に重要な情報です。

サポート チケットにコメントを加えるには、次の手順に従ってください。

- 1 テキスト エディタを起動します。サポート チケットのレイアウトがくずれないように、Microsoft Windows 付属のメモ帳などのテキスト エディタを使用してください。
- 2 サポート チケット ファイルを開きます（ファイル名とサポート チケットの保存場所は、チケットの作成時に通知されます）。
- 3 ファイルの下の方の **Your Comments**（コメント欄）にカーソルを移動します。
- 4 各タイトル欄に必要な情報を記入します。例えば、**Operating System**の下には、Windows NT 4.0などの、お使いのオペレーティングシステム名を記入してください。
- 5 ファイルを保存して、テキスト エディタを終了します。

HP カスタマケア サービスと
サポートのご案内

6 HPカスタマケア サービスとサポートのご案内

HP正規販売代理店

HP正規販売代理店

HPの正規販売代理店は、HP Brio、HP Vectra PCならびにKayakワークステーションに関する豊富な知識と技術を備え、システム構成や環境要件にも熟知しております。

HP正規販売代理店では、この他にも、HPサービス協力会社、HPカスタマサポートと同様に、製品開発やカスタムインストールなどのお客様のニーズに合わせたコンサルティングサービスも実施しております。

HPサポートおよびインフォメーション サービス

HPのWWWサイトには、製品データシート、サービスおよびサポート情報、電子ニュースレター、技術情報などのHP製品に関する様々な情報が掲載されています。この他に、BIOS、ソフトウェアユーティリティなどの最新バージョンのダウンロードもできます。

Access Guide Directoryをご利用になれば、利用可能な情報とサービスまで画面のガイドにしたがって、アクセスできます。

HP ホームページ	http://www.hp.com (英語) http://www.jpn.hp.com (日本語)
HP Brio サポート	http://www.hp.com/go/briosupport (英語)
HP Vectra サポート	http://www.hp.com/go/vectrasupport (英語)
HP Kayak サポート	http://www.hp.com/go/kayaksupport (英語)

付録 A

エラーコード

この付録では、ハードウェア診断テストで検出されるすべてのエラーコードをリストアップしています。各エラーコードについて、説明と対処法が記述されています。

エラーコードの概要

エラーコードはコンポーネントごとに昇順で分類されています。

0000h - 00FFh:	システム エラーコード
0100h - 01FFh:	メモリ エラーコード
0300h - 03FFh:	フロッピーディスク エラーコード
0400h - 04FFh:	キーボード エラーコード
0500h - 05FFh:	SCSI エラーコード
0600h - 06FFh:	シリアルポート エラーコード
0700h - 07FFh:	パラレルポート エラーコード
0800h - 080Fh:	SB (Sound Blaster) 互換エラーコード
0810h:	スピーカー エラーコード
0811h - 081Fh:	WSS (Windows Sound System) 互換エラーコード
0900h - 09FFh:	ビデオ エラーコード
0A00h - 0AFFh:	CD-ROM エラーコード
0C00h - 0CFFh:	IDE テープ エラーコード
0E00h - 0EFFh:	SMBus (System Management Bus) テスト エラーコード
0F00h - 0FFFh:	ATAPI リムーバブル デバイス エラーコード
1000h - 10FFh:	マルチ プロセッサ エラーコード
1200h - 12FFh:	TI カード バス テスト エラーコード
1300h - 13FFh:	USB エラーコード
1700h - 170Fh:	ACPI テスト エラーコード
1900h - 1902h:	DVD エラーコード
8000h:	DiagTools エラーコード
9610h:	Matrox ビデオ エラーコード
9621h:	Crystal サウンド エラーコード
9630h:	3Com Lan エラーコード
9640h - 966Ch:	ハードディスク エラーコード

エラーコードおよびチェックすべき項目についての全リストは、次のページ以降にあります。

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0001h	Cannot load the MSW (Machine Status Word). (MSW (Machine Status Word) をロードできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0002h	Cannot load the GDT (Global Descriptor Table) Register. (GDT (Global Descriptor Table) レジスタをロードできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0003h	Cannot load the IDT (Interrupt Descriptor Table) Register. (IDT (Interrupt Descriptor Table) レジスタをロードできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0004h	ARPL instruction execution error. (ARPL 命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0005h	LAR (Load Access Rights Byte) instruction execution error. (LAR (Load Access Rights Byte) 命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0006h	LSL (Load Segment Limit) instruction execution error. (LSL (Load Segment Limit) 命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0007h	VERR (Verify a Segment for Reading) instruction execution error. (VERR (Verify a Segment for Reading) 命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0008h	VERW (Verify a Segment for Writing) instruction execution error. (VERW (Verify a Segment for Writing) 命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0009h	Cannot enable the A20 line. (A20 ラインを有効にできない)	キーボード コントローラ エラー キーボード コントローラとの接続部分をチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0010h	32-bit register read or write error. (32 ビット レジスタの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0011h	PUSHA(D) or POPA(D) execution error. (PUSHA(D) または POPA(D) の実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0012h	Cannot access data through the FS or GS registers. (FS または GS レジスタ経由でデータにアクセスできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0013h	BSF or BSR execution error. (BSF または BSR の実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0014h	FLAG Register Set or Reset error. (FLAGレジスタのセット / リセット エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0015h	Protected mode instruction execution error. (保護モードでの命令実行エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0016h	32-bit multiplication error. (32 ビット乗算エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
001Eh	The detected processor Speed is not the same as specified. (検出されたプロセッサの速度と設定値の不一致)	プロセッサのクロック エラー システム ボード上のスイッチが正しいクロックに設定されているかチェックしてください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0020h	NDP (Numeric Data Processor) is not ready. (NDP (Numeric Data Processor) を使用できない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0021h	Cannot reset the NDP. (NDP をリセットできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0022h – 0025h	NDP control word read or write error. (NDP コントロール ワードの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0026h	Cannot reset the NDP control word. (NDP コントロール ワードがリセットできない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0027h	NDP Tag word read or write error. (NDP タグ ワードの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0028h	NDP stack read or write error. (NDP スタックの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0029h – 002Ah	NDP operation status has failed. (NDP オペレーション ステータスが機能していない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
002Bh	Integer load or store error. (整数値のロード / ストア エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
002Ch	NDP Tag word read or write error. (NDP タグ ワードの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
002Dh	NDP stack pop error. (NDP スタックのポップ エラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
002Eh – 002Fh	NDP Tag word read or write error. (NDP タグ ワードの読み込み / 書き込みエラー)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0030h	Read/Write test on DMA controller 1 failed. (DMA コントローラ 1 の読み込み / 書き込みテストに失敗)	Direct Memory Access (DMA) コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0031h	Read/Write test on DMA controller 2 failed. (DMA コントローラ 2 の読み込み / 書き込みテストに失敗)	Direct Memory Access (DMA) コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0032h	Read/Write test on page registers failed. (ページレジスタの読み込み / 書き込みテストに失敗)	Direct Memory Access (DMA) コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0040h	Read/Write test on PIC ports failed. (PIC ポートの読み込み / 書き込みテストに失敗)	Primary Interrupt Controller (PIC) エラー システム ボードを交換してください。
0041h	Stray or unrecognized interrupts detected. (不正割り込みを検出)	Primary Interrupt Controller (PIC) エラー システム ボードを交換してください。
0050h	The Timer Periodic Interrupt is not being generated. (タイマによる周期割り込みが発生していない)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0051h	The Timer is counting at a slower rate. (タイマのカウント レートが低い)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0052h	The Timer is counting at a faster rate. (タイマのカウント レートが高い)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0060h	The Real Time Clock Periodic Interrupt is not being generated. (Real Time Clock による周期割り込みが発生していない)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0061h	The Real Time Clock is running at a slower rate. (Real Time Clock の動作レートが低い)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0062h	The Real Time Clock is running at a faster rate. (Real Time Clock の動作レートが高い)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0063h	The date and time read from Real Time Clock CMOS RAM are different from that of written. (Real Time Clock CMOS RAM からの日付、時刻の読み込み値と書き込み値の不一致)	CMOS RAM エラー システム ボードを交換してください。
0070h	The battery backup unit that powers CMOS RAM has no power. (CMOS RAM に電力を供給するバッテリー バックアップ ユニットの電力がゼロになっている)	システム ボードのバッテリーを交換してください。
0071h	Bad CMOS RAM checksum detected. (CMOS RAM チェックサムから異常値を検出)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0072h	Configuration mismatch in CMOS RAM. (CMOS RAM 内の構成不一致)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0073h	CMOS RAM memory size. (CMOS RAM のメモリ サイズ)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0074h	CMOS RAM time is invalid. (CMOS RAM の時刻が無効になっている)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0075h	Time-base frequency divider set at incorrect value. (時間ベース周波数ディバイダが誤った値に設定されている)	CMOS RAM エラー システムを再起動して、BIOS のセットアップ パラメータをチェックしてください。 システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0076h	Divider output frequency set to an incorrect value. (ディバイダの出力周波数が誤った値に設定されている)	CMOS RAM エラー システムを再起動して、BIOS のセットアップ パラメータをチェックしてください。 システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0077h	Periodic time update cycle not occurring. (時刻の定期アップデートが行われていない)	Real Time Clock (RTC) エラー システム ボードを交換してください。
0078h	CMOS RAM checksum error detected. (CMOS RAM チェックサムからエラーを検出)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0079h	CMOS RAM fails to hold data. (CMOS RAM がデータを保持できない)	CMOS RAM エラー システム ボードのバッテリーを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0080h	This test runs on EISA systems only (このテストは EISA システム上でのみ実行可)	EISA アーキテクチャを実装していないシステム上でテストを実行したことによるエラーです。
0081h	EISA software NMI test failed. (EISA ソフトウェアの NMI テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
0082h	EISA fail-safe timer test failed. (EISA フェールセーフ タイマのテストに失敗)	システム ボードを交換してください。
0083h	PCI System Bus scan test failed. (PCI システム バスのスキャン テストに失敗)	BIOS またはシステム ボードのエラー システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0084h	Cannot access PCI devices through the FIND_PCI_DEVICE call. (FIND_PCI_DEVICE コールで PCI デバイス にアクセスできない)	BIOS をアップデートするか、システム ボードを交換してください。
0085h	Reading configuration space registers on boundary conditions failed. (境界条件での構成領域レジスタの読み込みに失敗)	BIOS をアップデートするか、システム ボードを交換してください。
0086h	Consistency checking of PCI configuration space failed. (PCI 構成空間の一貫性チェックに失敗)	BIOS をアップデートするか、システム ボードを交換してください。
0087h	GENERATE_SPECIAL_CYCLE check failed. (GENERATE_SPECIAL_CYCLE チェックに 失敗)	システム ボードを交換してください。
0088h	BIOS32 service directory integrity check failed. (BIOS32 サービス ディレクトリの整合性 チェックに失敗)	BIOS エラー システム BIOS をアップデートしてください。
008Ah	PCI stress test failed. Buffer data mismatch. (PCI のストレス テストに失敗。バッファ データ不整合が発生)	SCSI コントローラが正しくインストールされているか チェックしてください。

付録 A エラーコード
0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0090h	PnP function 00 failed. (プラグアンドプレイ機能 00 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
0091h	PnP function 01 failed. (プラグアンドプレイ機能 01 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
0094h	Number of system device nodes is not the same as reported. (システムのデバイス ノードの個数とレポート値の不一致)	システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0095h	One or more nodes have larger than reported size. (レポート サイズより大きなノードが 1 つ以上ある)	プラグアンドプレイ デバイスをすべてチェックしてください。
0096h	ISA bus detected twice. (ISA バスが重複検出される)	システム BIOS をアップデートしてください。
0097h	No EISA bus system device node. (EISA バスのシステム デバイス ノードがない)	システム BIOS をアップデートしてください。
0098h	Motherboard has no EISA ID. (システム ボードに EISA ID がない)	システム BIOS をアップデートしてください。
0099h	One or more EISA slots are not configured. (構成されない EISA スロットが 1 つ以上ある)	ECU を実行して、DiagTools を再実行してください。エラーが解消されない場合、システム BIOS をアップデートしてください。
009Ah	PnP function 40 failed. (プラグアンドプレイ機能 40 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
009Bh	Invalid number of PnP cards. (プラグアンドプレイ カードの個数が無効な値)	プラグアンドプレイ デバイスをすべてチェックしてください。
009Ch	One or more unknown PnP cards. (不明なプラグアンドプレイ カードが 1 つ以上ある)	システム BIOS をアップデートしてください。
009Dh	No PCI bus system device node. (PCI バスのシステム デバイス ノードがない)	システム BIOS をアップデートしてください。
009Eh	Too many PCI buses. (PCI バスの個数が多すぎる)	システム BIOS をアップデートしてください。
009Fh	Insufficient memory. (メモリが不足)	DiagTools を実行する前にドライバを削除してください。
00A0h	PnP function 41 failed. (プラグアンドプレイ機能 41 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
00A1h	NVRam buffer size too big. (NVRam バッファ サイズが大きすぎる)	システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
00A2h	ESCD size is too small. (ESCD サイズが小さすぎる)	システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。

付録 A エラーコード

0000h – 00FFh: システム エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
00A3h	ESCD size is too big. (ESCD サイズが小さすぎる)	システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
00A4h	NVRam base address is invalid. (NVRam のベース アドレスが無効)	システム BIOS をアップデートしてください。
00A5h	PnP function 42 failed. (プラグアンド プレイ機能 42 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
00A6h	PnP function 43 failed. (プラグアンド プレイ機能 43 に障害が発生)	システム BIOS をアップデートしてください。
00A7h	NVRam test failed. (NVRam テストに失敗)	システム BIOS をアップデートしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
00C0h	Non-Intel processor. (Intel プロセッサがない)	Intel プロセッサと交換してください。
00C1h	Non-Pentium processor. (Pentium プロセッサがない)	Pentium プロセッサと交換してください。
00C2h	Non-MMX processor. (MMX プロセッサがない)	MMX プロセッサと交換してください。
00C3h	MMX Registers Read/Write failed. (MMX レジスタの読み込み / 書き込みに失敗)	プロセッサを交換してください。
00C4h	Wraparound Arithmetic test failed. (総合演算テストに失敗)	プロセッサを交換してください。
00C5h	Saturation Arithmetic test failed. (飽和演算テストに失敗)	プロセッサを交換してください。
00C6h	Pack with signed saturation failed. (サイン付き飽和による圧縮に失敗)	プロセッサを交換してください。
00C7h	Pack with unsigned saturation failed. (サインなし飽和による圧縮に失敗)	プロセッサを交換してください。
00C8h	Unpack high packed data failed. (高圧縮データの解凍に失敗)	プロセッサを交換してください。
00C9h	Unpack low packed data failed. (低圧縮データの解凍に失敗)	プロセッサを交換してください。
00CAh	Exit MMX state instruction (EMMS) failed. (Exit MMX ステート命令 (EMMS) に障害が発生)	プロセッサを交換してください。
00CBh	Matrix transpose test failed. (行列転置テストに失敗)	プロセッサを交換してください。
00CCh	MMX performance failed. (MMX の性能に障害が発生)	プロセッサを交換してください。
00FFh	Out of memory. (メモリが不足)	キーボードだけを使って、DiagTools を再実行してください。

0100h – 01FFh: メモリ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0100h	ROM read error. DiagTools was not able to read from a ROM location. (ROM 読み込みエラー。DiagTools による ROM からの読み込みに失敗)	システム ボード エラー システム ボードを交換してください。
0101h	ROM not write-protected. (ROM がライトプロテクトされていない)	システム ボード エラー システム ボードを交換してください。
0102h	BIOS cannot set the year to 2000 after 1999 midnight. (1999 年深夜 12 時を過ぎても、BIOS で西暦が 2000 年に設定されない)	BIOS エラー システム BIOS をアップデートしてください。
0120h	Parity error at absolute memory location XXXXXXXXh. (メモリの絶対アドレス XXXXXXXXh でパリティ エラーが発生)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0130h	The pattern written at XXXXXXXXh was qqqqh. The pattern read back from that address was pppph. (XXXXXXXh に書き込まれたパターン qqqqh が、pppph と読み取られる)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0131h	Parity failure at XXXXXXXXh during pattern test. (パターン テスト中に XXXXXXXXh でパリティ エラーが発生)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0132h	Faulty memory chip in SIMM XXXX. (SIMM XXXX 内のメモリチップに障害が発生)	SIMM XXXX を交換してください。
0135h	ECC correctable error in SIMM/DIMM socket XXXX/YYYY. (SIMM/DIMM ソケット XXXX/YYYY 内で ECC 補正エラー)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0136h	ECC can not be corrected. Error in SIMM/DIMM socket XXXX/YYYY. (ECC が補正できない。SIMM/DIMM ソケット XXXX/YYYY 内にエラー)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0137h	Error occurred on bank XXXX interleave YYYY. (バンク XXXX、インタリーブ YYYY 上でエラーが発生)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。

付録 A エラーコード

0100h – 01FFh: メモリ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0140h	Failure at address XXXXXXXXh, bit position bbh. (アドレス XXXXXXXXh、ビット位置 bbh で障害が発生)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0150h	Failure at XXXXXXXXh, bit position bbh. (XXXXXXXh、ビット位置 bbh で障害が発生)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0160h	There is an address short between bit xxh and yyh. (ビット xxh と yyh 間でアドレスが不足)	プロセッサまたはシステム ボードのエラー プロセッサが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
0170h	RAM Refresh is not working. (RAM リフレッシュが機能しない)	システム タイマ エラー システム ボードを交換してください。
0171h – 0172h	RAM Refresh is slower or faster than expected. (RAM リフレッシュが設定より低速 / 高速)	システム タイマ エラー システム ボードを交換してください。
0180h	The pattern written at address XXXXXXXXh was qqqqh. The pattern read back from that address was pppph. (アドレス XXXXXXXXh に書き込まれたパターン qqqqh が、pppph と読み取られる)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0181h	No Active External Cache Memory. (外部キャッシュメモリが使用できない)	キャッシュメモリ エラー BIOS セットアップで外部キャッシュメモリを有効にしてください。
0182h	No extended memory available from HIMEM.SYS (HIMEM.SYS から拡張メモリを使用できない)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0183h	No extended memory detected. (拡張メモリが検出されない)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
0184h	Data bus test failed. (データバスのテストに失敗)	システム ボードを交換してください。
0190h	Test failed at address xxxxxxxh. (アドレス xxxxxxxh でテストに失敗)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
01A0h	The pattern written at XXXXXXXXh was qqqqh. The pattern read back from that address was pppph. (XXXXXXXh に書き込まれたパターン qqqqh が、pppph と読み取られる)	メモリ エラー メモリ モジュールを交換してください。
01A1h	Configuration access mechanism test failed. (構成アクセス機構のテストに失敗)	プロセッサを交換してください。
01A2h	TagRAM control register test failed. (TagRAM 制御レジスタのテストに失敗)	プロセッサを交換してください。

付録 A エラーコード

0100h – 01FFh: メモリ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
01A3h	L2 cache commands test failed. (L2 キャッシュ コマンドのテストに失敗)	キャッシュメモリ エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
01A4h	L2 cache read/write test failed. (L2 キャッシュの読み込み / 書き込みテストに失敗)	キャッシュメモリ エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
01B0h	The pattern written at XXXXXXXX YYYYYYYYh was qqqqh. The pattern read back from that address was pppph.(XXXXXXXX YYYYYYYYhに書き込 まれたパターン qqqqh が、pppphと読み取 られる)	メモリ エラー テストを実行し、キャッシュを無効にしてください。問 題が解消されない場合、新しいメモリ モジュールを取 り付けるか、システムボードを新しいものと交換してく ださい。
01B1h	Parity failure at XXXXXXXX YYYYYYYYh during pattern test.(パターンテスト中に XXXXXXXX YYYYYYYYh でパリティエラー が発生)	メモリ エラー 適切なメモリ モジュールと交換してください。
01B2h	The pattern written at XXXXXXXX YYYYYYYYh was qqqqh. The pattern read back from that address was pppph.(XXXXXXXX YYYYYYYYhに書き込 まれたパターン qqqqh が、pppphと読み取 られる)	メモリ エラー 適切なメモリ モジュールと交換してください。
01B3h	Data bus test failed.(データ バス テストに 失敗)	メモリ モジュールを交換してください。

付録 A エラーコード

0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード

0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0301h	Undefined or invalid command in sequential test. (シーケンシャルテスト中の、未定義または無効なコマンド)	フロッピーディスクドライブまたはフロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスクドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
0302h	Address mark not found in sequential test. (シーケンシャルテスト中にアドレスマスクが見つからない)	フロッピーディスクドライブエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスクドライブを交換してください。
0303h	Disk is write-protected. (ディスクがライトプロテクトされている)	フロッピーディスクエラー フロッピーディスクを書き込み可にしてください。 エラーが解消されない場合、ディスクを交換してください。
0304h	Requested sector not found in sequential test. (シーケンシャルテストで、要求されたデータが見つからない)	フロッピーディスクドライブエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスクドライブを交換してください。
0305h	Reset failed in sequential test. (シーケンシャルテスト中にリセットに失敗)	フロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
0307h	Drive parameter activity failed in sequential test. (シーケンシャルテスト中にドライブパラメータのアクティビティに障害が発生)	フロッピーディスクドライブまたはフロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスクドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
0308h	DMA Overrun error in sequential test. (シーケンシャルテスト中にDMAオーバーランエラーが発生)	診断テストエラー 診断テストを再実行してください。
0309h	Attempt to DMA at 64 KB boundary in sequential test. (シーケンシャルテスト中に64KB境界でDMAを実行しようとする)	診断テストエラー 診断テストを再実行してください。

付録 A エラーコード

0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
030Ah	Bad sector flag detected. (不良セクタ フラッグを検出)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0310h	CRC or ECC data error in sequential test. (シーケンシャル テスト中に CRC または ECC データ エラーが発生)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0311h	ECC-corrected data error. (ECC のデータ補正エラー)	フロッピーディスク エラー フロッピーディスクを交換してください。
0321h	Change line not working. (変換ラインが機能していない)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。
0322h	Floppy Speed Error Drive. (フロッピーディスク ドライブの速度エラー)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。
0340h	Seek operation failed in sequential test. (シーケンシャル テスト中にシーク動作に障害が発生)	フロッピーディスク ドライブまたはフロッピーディスク コントローラ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスク ドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0341h	Undefined or invalid command in random test. (ランダム テスト中の、未定義または無効なコマンド)	フロッピーディスク ドライブまたはフロッピーディスク コントローラ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスク ドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0342h	Address mark not found in random test. (ランダム テスト中にアドレス マスクが見つからない)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。
0344h	Requested sector not found in random test. (ランダム テストで、要求されたセクタが見つからない)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。

付録 A エラーコード

0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0345h	Reset failed in random test. (ランダムテスト中にリセットに失敗)	フロッピーディスク コントローラ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0347h	Drive parameter activity failed in random test. (ランダムテスト中にドライブパラメータのアクティビティに障害が発生)	フロッピーディスク ドライブまたはフロッピーディスク コントローラ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスク ドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0348h	DMA overrun error in random test. (ランダムテスト中に DMA オーバーランエラーが発生)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0349h	Attempt to DMA in 64 KB boundary in random test. (ランダムテスト中に 64KB 境界で DMA を実行しようとする)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0350h	CRC or ECC data error in random test. (ランダムテスト中に CRC または ECC データエラーが発生)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0360h	Seek operation failed in random test. (ランダムテスト中にシーク動作に障害が発生)	フロッピーディスク ドライブまたはフロッピーディスク コントローラ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスク ドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0380h	Drive not ready. (ドライブを使用不可)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。
03AAh	Drive not ready. (ドライブ使用不可)	フロッピーディスク ドライブ エラー フロッピーディスク ドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、フロッピーディスク ドライブを交換してください。

付録 A エラーコード

0300h – 03FFh: フロッピーディスク エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
03CCh	Write fault on selected drive. (選択ドライブへの書き込みエラー)	フロッピーディスクドライブまたはフロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスクを交換してください。 フロッピーディスクドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
03EEh	Data write/data read mismatch. (読み込み/書き込みでデータ不整合が発生)	フロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
03FEh	Diskette data read/write error in sequential test. (シーケンシャルテスト中に、フロッピーディスクのデータ読み込み/書き込みエラーが発生)	フロッピーディスクドライブまたはフロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスクを交換してください。 フロッピーディスクドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。
03FFh	Diskette data read/write error in random test. (ランダムテスト中に、フロッピーディスクのデータ読み込み/書き込みエラーが発生)	フロッピーディスクドライブまたはフロッピーディスクコントローラエラー フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているかチェックしてください。 フロッピーディスクを交換してください。 フロッピーディスクドライブを交換してください。 エラーが解消されない場合、システムボードを交換してください。

付録 A エラーコード

0400h – 04FFh: キーボード エラーコード

0400h – 04FFh: キーボード エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0400h	The HP Hardware Diagnostics utility received a keyboard controller interface error. (HP Hardware Diagnostics ユーティリティがキーボード コントローラのインタフェース エラーを検出)	キーボード コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0401h	The HP Hardware Diagnostics utility issued commands to keyboard controller and received improper responses. (キーボード コントローラにコマンドを送った HP Hardware Diagnostics ユーティリティが不正な応答を検出)	キーボード コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0410h – 0411h	Keyboard clock line is stuck low/high. (キーボードのクロック ラインがロー/ハイにスタックしている)	キーボードまたはキーボード コントローラ エラー キーボードがきちんと接続されているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0412h – 0413h	Keyboard data line is stuck low/high. (キーボードのデータ ラインがロー/ハイにスタックしている)	キーボードまたはキーボード コントローラ エラー キーボードがきちんと接続されているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0414h	The HP Hardware Diagnostics utility issued a command to the keyboard and either did not receive a response or received an improper response. (キーボード コントローラにコマンドを送った HP Hardware Diagnostics ユーティリティが、応答を検出できないか不正な応答を検出)	キーボードまたはキーボード コントローラ エラー キーボードがきちんと接続されているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0415h	Keyboard LED could not be turned on. (キーボードの LED が点灯しない)	キーボード エラー キーボードを交換してください。
0416h	Keyboard diagnostic echo failed. (キーボードの診断エコーに失敗)	キーボードまたはキーボード コントローラ エラー キーボードを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0417h	Keyboard is not responding to command. (キーボードがコマンドに回答しない)	キーボードまたはキーボード コントローラ エラー キーボードを交換してください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。

0500h – 05FFh: SCSIエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0500h	Error in SCSI device. (SCSI デバイスにエラーが発生)	SCSI デバイス エラー 選択した SCSI デバイスの接続および設定をチェックしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI デバイスを交換してください。
0502h	SCSI device read error. (SCSI デバイスに読み込みエラーが発生)	SCSI ハードディスクを再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI ハードディスクを交換してください。
0503h	SCSI disk read timeout. (SCSI ディスクの読み込みタイムアウト)	SCSI ハードディスクを再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI ハードディスクを交換してください。
0504h	SCSI device write error. (SCSI デバイスに書き込みエラーが発生)	SCSI ハードディスクを再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI ハードディスクを交換してください。
0505h	SCSI disk format failed. (SCSI ディスクのフォーマットに失敗)	SCSI ハードディスク エラー SCSI ハードディスクを交換してください。
0507h	SCSI disk buffer error. (SCSI ディスクのバッファ エラー)	SCSI ハードディスク エラー SCSI ハードディスクを交換してください。
0508h	SCSI disk random read error. (SCSI ディスクのランダム読み込みエラー)	SCSI ハードディスクを再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI ハードディスクを交換してください。
0509h	SCSI disk random write error. (SCSI ディスクのランダム書き込みエラー)	SCSI ハードディスクを再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI ハードディスクを交換してください。
050Ah	SCSI disk block repair failed. (SCSI ディスクのブロック修復に失敗)	該当するパーティションをフォーマットまたは再フォーマットしてください。 エラーが解消されない場合、ハードディスクを交換してください。
050Bh	SCSI spin down test failed. (SCSI のスピンドウン テストに失敗)	SCSI デバイス エラー 選択した SCSI デバイスの接続および設定をチェックしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI デバイスを交換してください。

付録 A エラーコード

0500h – 05FFh: SCSI エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
050Ch	Error in Partition Table. (パーティションテーブル内にエラーが発生)	ディスクのパーティション テーブル領域内の読み込みエラー
050Dh	Boot sector error. (ブート セクタのエラー)	ブート パーティションが正しく定義されていません。ディスクユーティリティを実行してください。
050Eh	Media error. (メディア エラー)	パーティションのメディアが正確に記述されていません。パーティションが使用不可になっている可能性があります。
050Fh	Inconsistent sector numbers. (セクタ番号が矛盾している)	パーティション テーブル内のセクタ番号情報に誤りがあります。パーティションは使用可能ですが、テーブルで定義されたブロック数を超えるデータ アクセスがあると、エラーが発生します。
0510h	Cannot allocate memory. (メモリを割り当てられない)	診断テスト エラー インストールされているデバイス ドライバをすべて削除して、PC または PC ワークステーションを再起動してください。 診断テストを再実行してください。
0511h	Positioning failed on tape drive. (テープドライブの位置検出に失敗)	SCSI テープドライブ エラー テープドライブの接続と設定をチェックしてください。エラーが解消されない場合、SCSI テープドライブを交換してください。
0512h	Tape read error. (テープの読み込みエラー)	SCSI テープドライブ エラー SCSI テープドライブを交換してください。
0514h	Tape write error. (テープの書き込みエラー)	SCSI テープドライブ エラー SCSI テープドライブを交換してください。
0515h	Tape Selftest error. (テープのセルフテスト エラー)	SCSI テープドライブ エラー SCSI テープドライブを交換してください。
0516h	Tape buffer error. (テープのバッファ エラー)	テープを交換してください。 エラーが解消されない場合、テープドライブを交換してください。
0520h	No CD in drive. (ドライブに CD が挿入されていない)	SCSI CD-ROM エラー CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。
0521h	CD-ROM read error. (CD-ROM の読み込みエラー)	SCSI CD-ROM エラー CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入してください。
0523h	CD-ROM play error. (CD-ROM の再生エラー)	SCSI CD-ROM エラー CD-ROM ドライブにオーディオ CD を挿入してください。
0524h	CD Selftest error. (CD のセルフテスト エラー)	SCSI CD-ROM エラー CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入してください。

付録 A エラーコード

0500h – 05FFh: SCSIエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0525h	CD Open error. (CD のオープン エラー)	SCSI CD-ROM エラー SCSI CD ドライブが Open コマンドをサポートしているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI CD-ROM ドライブを交換してください。
0526h	CD Close error. (CD のクローズ エラー)	SCSI CD-ROM エラー SCSI CD ドライブが Close コマンドをサポートしているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI CD-ROM ドライブを交換してください。
0527h	CD buffer error. (CD のバッファ エラー)	CD-ROM ドライブを交換してください。
0528h	Pattern compare failed. (パターンの比較に失敗)	セクタから読み込まれたデータに誤りがあります。
0550h	Read timeout. (読み込みタイムアウト)	SCSI デバイス エラー 選択した SCSI デバイスの接続および設定をチェックしてください。 エラーが解消されない場合、SCSI デバイスを交換してください。
0560h	File not found. (ファイルが見つからない)	参照されているファイルが存在するかチェックしてください。
0580h	Cannot allocate memory. (メモリを割り当てられない)	診断テスト エラー インストールされているデバイスドライバをすべて削除して、PC または PC ワークステーションを再起動してください。 診断テストを再実行してください。
0590h	Command not supported. (サポートされていないコマンド)	デバイスがサポートしていないコマンド 特に問題はありません。

付録 A エラーコード

0600h – 06FFh: シリアルポート エラーコード

0600h – 06FFh: シリアルポート エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0601h	Data written to port xxxh was yyyyh. Data read back from the port was zzzzh. (ポート xxxh に書き込まれたデータ yyyyh が、zzzh と読み取られる)	シリアルポートまたはシリアルポート コントローラ エラー 外部ループバック (テスト) コネクタが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0602h	Interrupt identification register test failed. (割り込み識別レジスタのテストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0603h	Data written to port XXXXh was yyyyh. Data read back from the port was zzzzh. (ポート xxxh に書き込まれたデータ yyyyh が、zzzh と読み取られる)	シリアルポートまたはシリアルポート コントローラ エラー 外部ループバック (テスト) コネクタが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0604h	Line status register test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh でラインステータス レジスタのテストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0605h	Interrupt activation test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で割り込み動作テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0606h	Data transfer test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh でデータ転送テストに失敗)	シリアルポートまたはシリアルポート コントローラ エラー 外部ループバック (テスト) コネクタが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0607h	Loop back test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh でループバックテストに失敗)	シリアルポートまたはシリアルポート コントローラ エラー 外部ループバック (テスト) コネクタが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0608h	FIFO register test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で FIFO レジスタ テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。

コード	説明	詳細およびチェック項目
0609h	FIFO trigger level test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で FIFO トリガレベル テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0610h	FIFO character timeout indication test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で FIFO キャラクタ タイムアウト インジケーション テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0611h	FIFO data transfer test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で FIFO データ転送テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0612h	Baud rate speed test failed. (ボーレート速度テストに失敗)	16650 UART 上でテストしている場合、テストメニューで選択した周波数とカード上のジャンパ設定が一致しているかチェックしてください。 診断テストを再実行してください。
0613h	Infrared register test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で赤外線レジスタ テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0614h	Infrared interrupt ID test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で赤外線割り込み ID テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0615h	Infrared internal loopback test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で赤外線内部ループバックテストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0616h	Infrared line status test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で赤外線ラインステータステストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0617h	Infrared data transfer test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で赤外線データ転送テストに失敗)	シリアルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。

付録 A エラーコード

0700h – 07FFh: パラレルポート エラーコード

0700h – 07FFh: パラレルポート エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0701h	Data written to port XXXXh was yyh. Data read back was zzh. (ポート XXXXh に書き込まれたデータ yyh が、zzh と読み取られる)	パラレルポートまたはパラレルポート コントローラ エラー 外部ループバック (テスト) コネクタが正しく取り付けられているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0702h	IRQ Activation test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で IRQ 動作テストに失敗)	パラレルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0704h	ECP register W/R test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で ECP レジスタの読み込み / 書き込みテストに失敗)	パラレルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0705h	ECP FIFO test failed at port XXXXh. (ポート XXXXh で ECP FIFO テストに失敗)	パラレルポート コントローラ エラー システム ボードを交換してください。
0706h	Loopback test failed at XXXXh port. (ポート XXXXh でループバック テストに失敗)	パラレルポート コントローラを交換してください。
0707h	Loopback test failed at XXXXh port. (ポート XXXXh でループバック テストに失敗)	ループバック コネクタがありません。 ループバック コネクタを接続してください。
0708h	Loopback test failed at XXXXh port. (ポート XXXXh でループバック テストに失敗)	ループバック回路内に想定外のデータが存在します。 パラレルポート コントローラを交換してください。

0800h – 080Fh: Sound Blaster 互換エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0801h	Stereo test failed. (ステレオテストに失敗)	サウンドボードエラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0802h	Pitch test failed. (ピッチテストに失敗)	サウンドボードエラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0803h	Volume test failed. (ボリュームテストに失敗)	サウンドボードエラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0804h	Playback rate test failed. (再生速度テストに失敗)	サウンドボードエラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0805h	Frequency test failed. (周波数テストに失敗)	サウンドボードエラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0806h	Speaker test failed. (スピーカーテストに失敗)	スピーカーエラー PCのスピーカーが正しく接続されているかチェックしてください。 PCのスピーカーを交換してください。

付録 A エラーコード

0810h: PCスピーカー エラーコード

0810h: PCスピーカー エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0810h	Speaker test failed. (スピーカー テストに失敗)	スピーカー エラー PC のスピーカーが正しく接続されているかチェックしてください。 PC のスピーカーを交換してください。

0811h – 081Fh: Windows Sound System 互換 エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0811h	Stereo test failed. (ステレオ テストに失敗)	サウンドボード エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none">• サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合)• システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0812h	Pitch test failed. (ピッチ テストに失敗)	サウンドボード エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none">• サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合)• システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0813h	Volume test failed. (ボリューム テストに失敗)	サウンドボード エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none">• サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合)• システムボード (システムボード上に統合されている場合)

コード	説明	詳細およびチェック項目
0814h	Playback rate test failed. (再生速度テストに失敗)	サウンドボード エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0815h	Frequency test failed. (周波数テストに失敗)	サウンドボード エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドボード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0816h	Speaker test failed. (スピーカー テストに失敗)	スピーカー エラー PC のスピーカーが正しく接続されているかチェックしてください。 PC のスピーカーを交換してください。

0900h – 09FFh: ビデオ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0900h	Video adapter memory read or write test failed. (ビデオアダプタ メモリの読み込み / 書き込みテストに失敗)	ビデオメモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0901h	Video adapter attribute test failed. (ビデオアダプタの特性テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)

付録 A エラーコード

0900h – 09FFh: ビデオ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0903h	80x25 mode test failed. (80x25 のモード テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0904h	40x25 mode test failed. (40x25 のモード テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0905h	320x200 mode test failed. (320x200 のモード テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0906h	640x200 mode test failed. (640x200 モード テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0907h	Video page selection test failed. (ビデオ ページの選択テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0908h	Video adapter color test failed. (ビデオアダプタのカラー テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0909h	640x350 mode test failed. (640x350 のモード テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオ アダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)

付録 A エラーコード

0900h – 09FFh: ビデオ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
090Ah	640 x 480 graphics test failed. (640 x 480 のグラフィック テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
090Ch	VESA video mode test failed. (VESA ビデオモード テストに失敗)	ビデオメモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
090Dh	VESA video memory test failed. (VESA ビデオメモリ テストに失敗)	ビデオメモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
090Eh	DDC1 protocol failed. (DDC1 プロトコルに障害が発生)	DDC エラー DDC ディスプレイ インタフェースをチェックしてください。
090Fh	DDC2 protocol failed. (DDC2 プロトコルに障害が発生)	DDC エラー DDC ディスプレイ インタフェースをチェックしてください。
0911h	VESA mode video memory error. (VESA モード ビデオメモリエラー)	ビデオメモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)
0912h	VESA mode video memory error. (VESA モード ビデオメモリエラー)	ビデオメモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システムボード (システムボード上に統合されている場合)

付録 A エラーコード

0A00h – 0AFFh: CD-ROMエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0915h	VESA mode video memory error. (VESA モード ビデオメモリエラー)	ビデオ メモリ エラー ビデオメモリを交換してください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)
0920h	Wave pattern test failed. (波形パターンテストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード 上に統合されている場合)

0A00h – 0AFFh: CD-ROMエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0A00h	No CD in drive. (ドライブに CD が挿入されていない)	CD-ROM エラー CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。
0A01h	Eject fails on drive x. (ドライブ x のイジェクトに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0A02h	Close failed on drive x. (ドライブ x のクローズに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0A03h	Sequential data test failed, Drive x, Sector Y. (ドライブ x、セクタ Y でシーケンシャル データ テストに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0A04h	Sequential data test failed. No data in Drive x. (シーケンシャル データ テストに失敗。ドライブ x にデータが存在しない)	CD-ROM エラー CD-ROM ドライブにデータ CD を挿入し、診断テストを再実行してください。
0A05h	Random data test failed, Drive x, Sector Y. (ドライブ x、セクタ Y でランダム データ テストに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0A06h	Random data test failed. No data in Drive x. (ランダム データ テストに失敗。ドライブ x にデータが存在しない)	CD-ROM エラー CD-ROM ドライブにデータ CD を挿入し、診断テストを再実行してください。
0A07h	Sequential play test failed, Drive x, Sector y. (ドライブ x、セクタ y でシーケンシャル再生テストに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。

コード	説明	詳細およびチェック項目
0A08h	Sequential play test failed. No data in Drive x. (シーケンシャル再生テストに失敗。ドライブ x にデータが存在しない)	CD-ROM エラー CD-ROM ドライブにオーディオ CD を挿入し、診断テストを再実行してください。
0A09h	Random play test failed, Drive x, Sector y. (ドライブ x、セクタ y でランダム再生テストに失敗)	診断テスト エラー 診断テストを再実行してください。
0A10h	Random play test failed. No data in Drive x. (ランダム再生テストに失敗。ドライブ x にデータが存在しない)	CD-ROM エラー CD-ROM ドライブにオーディオ CD を挿入し、診断テストを再実行してください。
0A11h	No audio tracks in the multisession CD in drive x. (ドライブ x のマルチセッション CD にオーディオトラックが存在しない)	CD-ROM error. CD-ROM ドライブにオーディオ CD を挿入し、診断テストを再実行してください。
0A12h	Number of audio tracks inadequate for the test. (テストに不適なオーディオトラック数)	CD-ROM error. CD-ROM ドライブに別のマルチセッション CD を挿入し、診断テストを再実行してください。

0C00h – 0CFFh: IDE テープ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0C01h	No medium in tape drive n. (テープドライブ n にメディアが挿入されていない)	テープドライブにテープカートリッジを挿入し、再テストしてください。
0C02h	Medium write protected. (メディアがライトプロテクトされている)	記録スイッチによってテープが書き込み不可になっています。書き込み可にしてください。
0C03h	Rewind failed. (巻き戻しに失敗)	テープドライブのテープを交換し、診断テストを再実行してください。
0C04h	Erase failed. (消去に失敗)	テープドライブのテープを交換し、診断テストを再実行してください。
0C05h	Write failed. (書き込みに失敗)	診断テストを再実行してください。
0C06h	Read failed. (読み込みに失敗)	診断テストを再実行してください。
0C07h	Signature failed. (署名の読み込みに失敗)	このメッセージは署名が見つからない場合に表示されます。署名は、書き込みテストによってテープ上に書き込まれます。まず書き込みテストを行ってから、読み込みテストを行ってください。

付録 A エラーコード

0E00h – 0EFFh: SMBus (System Management Bus) エラーコード

0E00h – 0EFFh: SMBus (System Management Bus)
エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0E00h	Register test failed. (レジスタ テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E10h	Status test failed. (ステータス テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E20h	<test name> <read/write type> test failed. (<テスト名 > <read/write タイプ > テストに 失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E30h	LM75 register test failed. (LM75 レジスタ テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E31h	LM75 temperature test failed. (LM75 温度テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E32h	LM75 test failed. (LM75 テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E40h	LM80 register test failed. (LM80 レジスタ テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E41h	LM80 (voltage temperature fan speed) measurement test error. (LM80 (電圧 温度 ファン速度) 測定テス トでエラーが発生)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E42h	LM80 test failed. (LM80 テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E50h	16LC63 register test failed. (16LC63 レジスタ テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E51h	16LC63 (temperature 3.3 Volt 5 Volt 12 Volt CPU Core Volt CPU I/O Volt) measurement failed. (16LC63 (温度 3.3 ボルト 5 ボルト 12 ボ ルト CPU コア電圧 CPU I/O 電圧) 測定に 失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E52h	16LC63 register test failed. (16LC63 レジスタ テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー

0E00h – 0EFFh: SMBus (System Management Bus) エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0E53h	16LC63 (5V on board 12V on board 3.3V on board 2.5V on board CPU0 core voltage CPU1 core voltage CPU0 thermal CPU1 thermal slot thermal disk bay thermal 5V on slot 12V on slot fan power voltage 3.3V on slot -5V on slot -12V on slot) measurement test failed. (16LC63 (ボード上 5V ボード上 12V ボード上 3.3V ボード上 2.5V CPU0 コア電圧 CPU1 コア電圧 CPU0 温度 CPU1 温度 スロット温度 ディスクベイ温度 スロット上 5V スロット上 12V ファン電圧 スロット上 3.3V スロット上 -5V スロット上 -12V) 測定テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E54h	16LC63 (5V on board 12V on board 3.3V on board 2.5V on board CPU0 core voltage CPU1 core voltage CPU0 thermal CPU1 thermal slot thermal disk bay thermal 5V on slot 12V on slot fan power voltage 3.3V on slot -5V on slot -12V on slot) measurement test failed. (16LC63 (ボード上 5V ボード上 12V ボード上 3.3V ボード上 2.5V CPU0 コア電圧 CPU1 コア電圧 CPU0 温度 CPU1 温度 スロット温度 ディスクベイ温度 スロット上 5V スロット上 12V ファン電圧 スロット上 3.3V スロット上 -5V スロット上 -12V) 測定テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー
0E5Fh	16LC63 test failed. (16LC63 テストに失敗)	サポート外の機能か、システム ボード エラー

付録 A エラーコード

0F00h – 0FFFh: ATAPI リムーバブル デバイス エラーコード

0F00h – 0FFFh: ATAPI リムーバブル デバイス
エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
0F01h	No ATAPI removable device present. (ATAPI リムーバブル デバイスが見つからない)	ATAPI リムーバブル デバイスを接続し、診断テストをもう一度行ってください。
0F02h	Write failed. (書き込みに失敗)	診断テストを再実行してください。
0F03h	Read failed. (読み込みに失敗)	診断テストを再実行してください。
0F04h	Seek operation failed. (シーク動作に障害が発生)	シーク機能がデバイス コントローラによってサポートされている場合、コントローラを交換してください。
0F05h	Eject fails on drive x. (ドライブ x でイジェクトに失敗)	イジェクト機能がサポートされていないか、機能していません。診断テストを再実行してください。
0F06h	Sequential read verify failed. (順次読み込み確認に失敗)	診断テストをもう一度行ってください。
0F07h	Random read operation failed.(ランダム読み込み動作に失敗)	メディアを交換し、診断テストをもう一度行ってください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。
0F08h	Random read verify failed. (ランダム読み込み確認に失敗)	診断テストをもう一度行ってください。
0F09h	Random seek operation failed. (ランダムシーク動作に障害が発生)	メディアを交換し、診断テストをもう一度行ってください。 エラーが解消されない場合、システム ボードを交換してください。

1000h – 10FFh: マルチプロセッサ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1000h	Processors don't have unique IDs. (プロセッサに一意の ID がない)	プロセッサの ID エラー プロセッサが正しく設定されているかチェックしてください。
1001h	Processor X failed to interrupt processor Y. (プロセッサ X がプロセッサ Y への割り込み に失敗)	プロセッサ エラー プロセッサを交換してください。
1002h	IPI physical mode test failed on processor X. (プロセッサ X で IPI 物理モード テストに 失敗)	プロセッサ エラー プロセッサを交換してください。
1008h	MPI arbitration test failed. (MPI アービトレーション テストに失敗)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく設定されているかチェックしてく ださい。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してく ださい。
1009h	Cache coherency test failed. (キャッシュ コヒーレンス テストに失敗)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく設定されているかチェックしてく ださい。 エラーが解消されない場合エラーが解消されない場合、 プロセッサを交換してください。
100Ah	Memory consistency test failed. (メモリ整合性テストに失敗)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく設定されているかチェックしてく ださい。 プロセッサを交換してください。
100Bh	I/O access test failed on processor X at port XXXXh. (ポート XXXXh でプロセッサ X の I/O アク セス テストに失敗)	プロセッサ エラー プロセッサを交換してください。
100Ch	Memory map I/O access test failed on processor X at address XXXXXXXXh. (アドレス XXXXXXXXh でプロセッサ X の メモリ マップ I/O アクセス テストに失敗)	プロセッサ エラー プロセッサを交換してください。
100Dh	Application processors were not detected. (アプリケーション プロセッサが検出され ない)	プロセッサ エラー プロセッサが正しく設定されているかチェックしてく ださい。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してく ださい。

付録 A エラーコード

1000h – 10FFh: マルチプロセッサ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
100Eh	CPU speed error. (CPU の速度エラー)	プロセッサの速度エラー プロセッサに印刷されている速度とクロックをチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
100Fh	CPU count error. (CPU のカウント エラー)	プロセッサ エラー 取り付けられているプロセッサの個数を確認してください。
1010h	Configuration access mechanism test failed. (構成アクセス機構テストに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1011h	TagRAM control register read failed. (TagRAM 制御レジスタの読み込みに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1012h	TagRAM control register write failed. (TagRAM 制御レジスタの書き込みに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1013h	Value read back from TagRAM control register is not the same as the value written. (TagRAM 制御レジスタからの読み込み値と設定値の不一致)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)

付録 A エラーコード

1000h – 10FFh: マルチプロセッサ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1014h	L2 cache commands test failed. (L2 キャッシュ コマンド テストに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1015h	The pattern read back from the cache is not the same as the pattern written. (キャッシュからの読み込みパターンと指定パターンの不一致)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1016h	Tag Write with Data Read command failed. (データ読み込みコマンドでのタグの書き出しに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1017h	Tag Read with Data Read command failed. (データ読み込みコマンドでのタグの読み込みに失敗)	プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • L2メモリ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) • プロセッサ (プロセッサカード上に統合されている場合)
1030h	L2 Cache Pattern error. (L2 キャッシュ パターン エラー)	キャッシュメモリ エラー プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 メモリ テストを実行して、メインメモリと外部 L2 キャッシュメモリが正しく機能しているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。

付録 A エラーコード

1200h – 12FFh: TI カードバス テストエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1031h	L2 Cache Parity error. (L2 キャッシュ パリティ エラー)	キャッシュメモリ エラー プロセッサ、L2 キャッシュ、メインメモリが正しく取り付けられているかチェックしてください。 メモリ テストを実行して、メインメモリと外部 L2 キャッシュメモリが正しく機能しているかチェックしてください。 エラーが解消されない場合、プロセッサを交換してください。
1081h	No active external cache memory. (外部キャッシュメモリを使用できない)	キャッシュメモリ エラー BIOS セットアップで外部キャッシュメモリを有効にしてください。
1082h	No extended memory available from HIMEM.SYS. (HIMEM.SYS から拡張メモリを使用できない)	HIMEM.SYS をアンロードするか、HIMEM.SYS を使用するプログラムをアンロードしてください。
1083h	No extended memory detected. (拡張メモリが検出されない)	メモリを増設してテストしてください。

1200h – 12FFh: TI カードバス テストエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1201h	Unable to assign memory space. (メモリ領域の割り当て不可)	ISA/PCI カードをいくつか取り外し、診断テストをもう一度実行してください。
1202h	Register read write failed. (レジスタの読み書きに失敗)	コントローラを交換してください。システムボードに内蔵されている場合は、システムボードごと交換してください。
1203h	Power down failed. (パワーダウンに失敗)	コントローラを交換してください。システムボードに内蔵されている場合は、システムボードごと交換してください。
1205h	Unable to apply correct Vcc to the card. (カードへの適正供給電圧の印加不可)	PC カードを交換してください。
1206h	Card detect pins not functioning. (カード検出ピンが機能していない)	PC カードを交換してください。
1207h	Unable to configure the card. (カードを構成できない)	PCI カード バス ブリッジが正しく初期化されていることを確認してください。

1300h – 13FFh: USBエラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1301h	Cannot find PCI resource. (PCI リソースを検出できない)	新しいシステム BIOS をインストールしてください。
1302h	Register test failed.(レジスタテストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1303h	Frame test failed.(フレーム テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1304h	Status test failed.(ステータス テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1305h	Interrupt test failed.(割り込みテストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1312h	OHCI Register test failed. (OHCI レジスタ テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1313h	OHCI Frame test failed. (OHCI フレーム テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1314h	OHCI Status test failed. (OHCI ステータス テストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1315h	OHCI Interrupt test failed. (OHCI 割り込みテストに失敗)	システム ボードを交換してください。
1316h	OHCI Transfer desc. failed. (OHCI 転送 desc. に失敗)	システム ボードを交換してください。

1700h – 170Fh: ACPI エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1701h	Invalid system memory address map. (無効なシステムメモリアドレスマップ)	新しいシステム BIOS をインストールしてください。
1702h	Invalid ACPI tables. (無効な ACPI テーブル)	新しいシステム BIOS をインストールしてください。

付録 A エラーコード

1900h – 1902h: DVD エラーコード

1900h – 1902h: DVD エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
1900h	Critical or command error. (クリティカルまたはコマンド エラー)	正常に動作する DVD メディアをセットし、診断テストをもう一度行ってください。エラーが解消されない場合は、DVD ドライブを交換してください。
1901h	DVD seek test failed. (DVD シーク テストに失敗)	DVD メディアまたは DVD ドライブの点検を行い、必要ならば交換してください。
1902h	DVD read test failed. (DVD 読み込みテストに失敗)	DVD メディアまたは DVD ドライブの点検を行い、必要ならば交換してください。

8000h: DiagTools エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
8000h	Fails in executing an external program. (外部プログラムの実行に失敗)	外部プログラムが DiagTools ディレクトリに格納されていることを確認してください。

9610h: Matrox ビデオ エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
9610h	Matrox video chip test failed. (Matrox ビデオ チップ テストに失敗)	ビデオ コントローラ エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none">ビデオアダプタ (アクセサリ スロットに取り付けられている場合)システムボード (システムボード上に統合されている場合)

9621h: Crystal サウンド エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
9621h	Crystal sound test failed. (Crystal サウンド テストに失敗)	サウンド コントローラ エラー システム ボードを交換してください。

9630h: 3Com LAN エラーコード

コード	説明	詳細およびチェック項目
9630h	LAN card test failed. (LAN カード テストに失敗)	LAN コントローラ エラー 問題が解消されない場合、次のいずれかを交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> LAN カード (アクセサリ スロットに取り付けられている場合) システム ボード (システム ボード上に統合されている場合)

9640h – 966Ch: ハードディスク エラーコード

コード	説明	詳細 / チェック
9640h	SMART error detected in BST (Basic System Test). (ベーシック システム テスト (BST) で SMART エラーを検出)	製造元診断エラー 今から数日以内に障害が発生する可能性があります。 データをバックアップし、ハードディスクを交換してください。
9641h	Drive is defective (BST). (ドライブに欠陥がある (BST))	HDD エラー ハードディスクドライブを交換してください。
9642h	Run media confirmation test (BST). (メディア確認テストを実行 (BST))	アドバンスド システム テストを実行し、メディアに対し、より詳細な診断を行ってください。

付録 A エラーコード

9640h – 966Ch: ハードディスク エラーコード

コード	説明	詳細 / チェック
9643h	SMART error detected in AST (Advanced System Test). (アドバンスド システム テスト (AST) で SMART エラーを検出)	製造元診断エラー 今から数日以内に障害が発生する可能性があります。 データをバックアップし、ハードディスクを交換してください。
9644h	Drive is defective (AST). (ドライブに欠陥がある (AST))	HDD エラー ハードディスクドライブを交換してください。
9645h	Invalid boot sector (BST). (無効なブート セクタ (BST))	ハードディスク エラー ハードディスク上の論理情報に誤りがあります。ただし、検出されたエラーはハードウェアエラーとは限りません。ブート ユーティリティまたは規格外の OS 起動ローダを使用している場合にもこのエラーが発生します。アドバンスド テストを実行して、このハードディスクを完全にチェックしてください。エラーが検出されず、起動中かファイルアクセス中に問題が発生する場合は、ハードディスク上の論理情報に問題があると考えられます。ディスクを再フォーマットして、OS とアプリケーションを再インストールしてください。
9646h	No bootable partition (BST). (起動用パーティションがない)	ハードディスク エラー ハードディスク上の論理情報に誤りがあります。ただし、検出されたエラーはハードウェアエラーとは限りません。ブート ユーティリティまたは規格外の OS 起動ローダを使用している場合にもこのエラーが発生します。アドバンスド テストを実行して、このハードディスクを完全にチェックしてください。エラーが検出されず、起動中かファイルアクセス中に問題が発生する場合は、ハードディスク上の論理情報に問題があると考えられます。ディスクを再フォーマットして、OS とアプリケーションを再インストールしてください。
9647h	Bad cable detected (BST). (不良ケーブルを検出 (BST))	IDE ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。
9648h	Bad cable detected (AST). (不良ケーブルを検出 (AST))	IDE ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。
964Ah	Password protected hard disk (BST). (ハードディスクがパスワードにより保護されている (BST))	ハードディスク エラー ハードディスクドライブがパスワードにより保護されているため、テストを実行できません。 ハードディスクドライブのテストを行えるよう、パスワード保護を解除してください。
964Bh	Hard disk damaged by shock (BST). (ハードディスクが衝撃により損傷を受けた (BST))	ハードディスク エラー ハードディスクドライブの交換が必要です。

付録 A エラーコード

9640h – 966Ch: ハードディスク エラーコード

コード	説明	詳細 / チェック
964Ch	Hard disk damaged by shock (AST). (ハードディスクが衝撃により損傷を受けた (AST))	ハードディスク エラー ハードディスクドライブの交換が必要です。
9660h	Drive is defective (BST). (ドライブに欠陥がある (BST))	HDD エラー ハードディスクドライブを交換してください。
9661h	Run media confirmation test (BST). (メディア確認テストを実行 (BST))	アドバンスド システム テストを実行し、メディアに対し、より詳細な診断を行ってください。
9662h	Drive is defective (AST). (ドライブに欠陥がある (AST))	HDD エラー ハードディスクドライブを交換してください。
9663h	Auto test error (BST). (自動テストエラー (BST))	HDD 自動テストエラー ハードディスクドライブを交換してください。
9664h	Invalid boot sector (BST). (無効なブート セクタ (BST))	ハードディスク エラー ハードディスク上の論理情報に誤りがあります。ただし、検出されたエラーはハードウェアエラーとは限りません。ブート ユーティリティまたは規格外の OS 起動ローダを使用している場合にもこのエラーが発生します。アドバンスド テストを実行して、このハードディスクを完全にチェックしてください。エラーが検出されず、起動中かファイルアクセス中に問題が発生する場合は、ハードディスク上の論理情報に問題があると考えられます。ディスクを再フォーマットして、OS とアプリケーションを再インストールしてください。
9665h	No bootable partition (BST). (起動用パーティションがない (BST))	ハードディスク エラー ハードディスク上の論理情報に誤りがあります。ただし、検出されたエラーはハードウェアエラーとは限りません。ブート ユーティリティまたは規格外の OS 起動ローダを使用している場合にもこのエラーが発生します。アドバンスド テストを実行して、このハードディスクを完全にチェックしてください。エラーが検出されず、起動中かファイルアクセス中に問題が発生する場合は、ハードディスク上の論理情報に問題があると考えられます。ディスクを再フォーマットして、OS とアプリケーションを再インストールしてください。
9666h	Bad cable detected (BST). (不良ケーブルを検出 (BST))	IDE ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。
9667h	Bad cable detected (AST). (不良ケーブルを検出 (AST))	IDE ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。

付録 A エラーコード

9640h – 966Ch: ハードディスク エラーコード

コード	説明	詳細 / チェック
9669h	Password protected hard disk (BST). (ハードディスクがパスワードにより保護されている (BST))	ハードディスク エラー ハードディスクドライブがパスワードにより保護されているため、テストを実行できません。 ハードディスクドライブのテストを行えるよう、パスワード保護を解除してください。
964Ah	Hard disk damaged by shock (BST). (ハードディスクが衝撃により損傷を受けた (BST))	ハードディスク エラー ハードディスクの交換が必要です。
964Bh	Hard disk damaged by shock (AST). (ハードディスクが衝撃により損傷を受けた (AST))	ハードディスク エラー ハードディスクの交換が必要です。
964Ch	Bad low-level format (BST). (ローレベルフォーマットが完了していない (BST))	ハードディスク エラー (SCSI ユーティリティによる) ローレベルフォーマットが完了していません。ハードディスクは使用不能です。 SCSI ブートメニューから SCSI ユーティリティを起動し、HDD を再フォーマットしてください。途中で中断したり、コンピュータをオフにせず、完全に終了するまでお待ちください。 PC とハードディスクの容量によって、この作業は数時間かかる場合があります。ローレベルフォーマットが終了したら、パーティションを作成し、HDD をフォーマットし、OS とアプリケーションをインストールしてください。



DiagTools ユーザーズ ガイド